

スポーツ振興について(1)

1 第 3 期滋賀県スポーツ推進計画の策定

県では現在、平成 30 年 3 月に策定した「第 2 期滋賀県スポーツ推進計画」に基づき、豊かで潤いのある生活や活力ある地域社会の実現に寄与すべく、スポーツの推進に取り組んできたところであるが、現行計画は令和 4 年度で計画期間の終期を迎えることから、近年のスポーツを取り巻く環境の変化等を踏まえ、次期計画である「第 3 期滋賀県スポーツ推進計画」を策定する。

計画の位置付け

- ・ 滋賀県スポーツ推進条例第 8 条に基づき、スポーツの推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定するもの。

計画期間

- ・ 令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間とする。

策定スケジュール(予定)

令和 4 年 5 月頃	滋賀県スポーツ推進審議会(骨子案)
令和 4 年 8 月頃	滋賀県スポーツ推進審議会(素案)
令和 4 年 10 月頃	県民政策コメント・市町等意見照会
令和 5 年 1 月頃	滋賀県スポーツ推進審議会(答申案) 審議会会長から知事へ答申
令和 5 年 3 月	計画策定

(参考) 滋賀県スポーツ推進審議会への諮問(R3.11)の概要

- ・ 県では、「滋賀県スポーツ推進条例」(平成 27 年制定)や、「第 2 期滋賀県スポーツ推進計画」(平成 30 年策定)に基づき、スポーツの推進のための施策を展開している。
- ・ こうした中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、スポーツを「する」「みる」「支える」全ての場面で制限を受けており、県民の誰もが安心してスポーツを楽しむことができるよう、施策を効果的に展開していくことが求められている。
- ・ また、県民のスポーツ実施率の伸び悩みや、少子化等による運動部活動の課題など、本県を取り巻く様々な状況に対応していく必要がある。
- ・ さらに、本県で開催される国スポ・障スポ大会等のレガシーを地域振興に結び付けていくことも重要である。
- ・ 県の現行計画等を踏まえ、「第 3 期滋賀県スポーツ推進計画」を策定するに当たり、今後のスポーツ施策に係る基本的方針や諸方策について意見を求めたい。

2 スポーツを通じた健康づくりと地域の活性化

(1) 県民のスポーツ実施率の向上に向けた取組

- ・県民の運動・スポーツ習慣化につながる取組を実施し、スポーツを通じた県民の健康づくりを推進している。

【成人の週1日以上運動・スポーツ実施率】

		H30	R1	R2	R3	R4(目標年度)
全国(a)		55.1%	53.6%	59.9%	56.4%	65%
滋賀県	実績(b)	39.9%	44.1%	48.7%	52.0%	-
	目標値	-	44%	53%	61%	65%
差(b - a)		15.2	9.5	11.2	4.4	-

R1～R3の目標値は、滋賀基本構想実施計画で定めているもの。

R4(目標年度)の数値は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定めているもの。

(出典) 国：スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」
 県：「滋賀県スポーツ実施状況調査」

- ・令和4年度は、運動・スポーツ実施率が低い働き盛りの世代や女性をターゲットに、健康や観光等の多様な分野と連携しながら、ビワテクアプリを活用した多くの人が参加できるウォーキングイベントを推進していく。

【障害者の週1日以上運動・スポーツ実施率】

		H30	R1	R2	R3	R4(目標年度)
全国(a)		20.6%	25.3%	24.9%	31.0%	40%
滋賀県(b)		-	-	28.9%	-	65%
差(b - a)		-	-	4.0%	-	-

R4(目標年度)の数値は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定めているもの。

(出典) 国：スポーツ庁「障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究」
 県：「障害のある方のスポーツに関する調査」

- ・障害者が気軽にスポーツに親しめる機会を提供するため、ポッチャやフライングディスクなどが体験できるスポーツイベントを開催する。
- ・障害者スポーツのすそ野拡大と身近な地域で障害者がスポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブで障害者スポーツ教室を実施する。

(2) スポーツボランティアの普及

- ・大規模大会などのスポーツイベントを円滑に運営するためにはスポーツボラン

ティアの協力が不可欠であり、2025年に本県で開催される国スポ・障スポ大会において中心的な人材となることも期待して、スポーツボランティアの確保と養成を推進している。

[令和4年3月31日現在登録者数：3,823名（前年度比245名増）]

- ・令和3年度に県内プロスポーツチームやスポーツ関係団体、行政等で構成する「しがスポーツボランティア協議会」を設立したところであり、協議会を通じて幅広い活動機会の提供や交流会を開催するなどスポーツボランティアの魅力を発信し、スポーツボランティアの養成に取り組んでいる。

(3) 新しいマラソン大会（びわ湖マラソン）の開催

- ・1962年から2021年の約60年間に渡り長く県民に愛されてきた「びわ湖毎日マラソン」が果たしてきたスポーツの感動や滋賀の魅力の発信を、参加者自らがスポーツを「する」感動を味わい、美しい風景など滋賀の魅力を「感じ」、ボランティア等が大会を「支える」ことで、より一層のスポーツを通じた健康増進や滋賀の魅力発信を行う新しいマラソン大会「びわ湖マラソン」を開催する。

【びわ湖マラソンの概要】

大会名	びわ湖マラソン 2023
主催	滋賀県、一般財団法人滋賀陸上競技協会、大津市、草津市、草津市教育委員会、守山市、公益財団法人滋賀県スポーツ協会
共催	一般社団法人大津市スポーツ協会、公益社団法人草津市スポーツ協会、守山市スポーツ協会、一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会
主管	一般財団法人滋賀陸上競技協会
開催日	令和5年3月12日（日）（第2日曜日）
開催種目	マラソン（42.195km）日本陸上競技連盟公認大会（予定）
参加者数	7,000～8,000人
コース	スタート：皇子山陸上競技場、フィニッシュ：烏丸半島（日本陸上競技連盟公認コース（予定））（次ページ参照）
制限時間	6時間
大会テーマ	○ スポーツの感動を体感することで心と体の健康を増進し、「健康しが」を実現する大会 ○ 琵琶湖への愛着や感謝の気持ちを高めるとともに、CO ₂ ネットゼロなど環境への取組を通じて環境意識を高める大会 ○ 滋賀の魅力を発信し、地域の活性化につながる大会

・開催準備スケジュール

- 令和4年6～7月 開催告知開始、大会ホームページ開設
- 令和4年7月下旬 参加者募集開始（～10月まで）
- 令和5年2月 参加案内等事前送付、ボランティア等説明会開催
- 令和5年3月12日 びわ湖マラソン 2023 開催

【びわ湖マラソン 2023 コース図】



日本陸上競技連盟公認審査等によりコースの一部が変更となる可能性あり。